



## すぎなみ地域大学特別講座

### 市民を 10 冊の本に！南相馬ヒューマンライブラリーを開催

協働の担い手となる地域人材を育成するすぎなみ地域大学では、人が「本」となり、参加者が「読者」となって対話する「ヒューマンライブラリー」を杉並芸術会館（座・高円寺）のカフェ、アンリ・ファールで開催します。杉並区の交流自治体である福島県南相馬市から東日本大震災を経験した市民 10 名お招きし、震災後 9 年を経た中での自らの想いを“ものがたり”として語ります

ヒューマンライブラリーとは、多様な背景を持つ人を“本”（語り手）に見立て、来場された“読者”（聞き手）に 30 分間貸し出す“人の図書館”です。“本”と“読者”が対話をすることで、本役の人の内に流れる想い（ものがたり）に触れ、自己の気づきを得るデンマークで始まった手法です。福島県南相馬市で様々な背景を持つ 10 人が、“本役”として会場に駆けつけます。

本役の一人、JR 常磐線原ノ町駅の駅長、鈴木浩さんは、震災直後、茨城県土浦市の荒川沖駅で復旧業務の指揮をとっていました。その後、南相馬市に戻り、原ノ町駅長に就任。駅を文化発信・交流の場とするため、様々な企画を展開しています。また、JR 常磐線は、震災による影響で富岡駅—浪江駅間が不通となっていますが、本年 3 月に全線が開通予定で、そこに駆ける想いなどを伝えます。

まなびあい南相馬代表の高橋美加子さんは、地元で愛される創業 72 周年のクリーニング店を営みながら、自分や地域について学び合い率直に語り合う場を作りたいと、震災後に「まなびあい南相馬」を設立しました。日々、協働のまちづくりにまい進する中で生まれた想いを伝え届けます。

読者となる参加者は、杉並区民 35 名を予定しています。ものがたりに耳を傾け、対話をしながら新たな気づきや学びとなり、さらに進んで地域活動へ参加する動機が生まれることを意図した企画です。

#### ■すぎなみ地域大学特別講座「南相馬ヒューマンライブラリー」

日 時：令和 2 年 2 月 29 日（土曜日）

午後 3 時～午後 5 時 30 分

場 所：座・高円寺 2F カフェ「アンリ・ファール」

杉並区高円寺北 2-1-2

参加費：無料

定 員：35 名（申込多数の場合は抽選）

対 象：区内在住・在勤・在学の方

#### 【問い合わせ先】

区民生活部地域課地域人材育成係 電話：3 3 1 2 - 2 3 8 1（直通）